

大阪府が取り組んできた「志や夢をはぐくむ教育」に関連する事業

【小中学校課】

事業名	実施年度	概 要	成 果・実 践 例
①児童生徒の心に響く道徳教育推進事業	H18～19	学校や地域の実態を踏まえ、創意工夫を生かした児童生徒の心に響く道徳教育を推進するための実践研究を行い、その成果を普及することにより、府内の道徳教育を充実させる。	<p>《推進研究校及び推進研究地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枚方市立樟葉北小学校、寝屋川市立国松緑丘小学校、忠岡町立忠岡中学校、大阪市立大正中央中学校 ● 各推進校ともに「道徳の時間」を核とした道徳教育の充実を図るため、指導内容の研究、指導方法の工夫改善、発達段階に応じた指導計画の作成・実践等の研究が行われた。 ● 特別活動や総合的な学習の時間、各教科における指導の工夫や有機的な関連を図った「道徳の時間」の充実が図られた。 ● 「道徳の時間」の公開授業の実施や「たより」の配付等により、家庭や地域と連携した道徳教育の取組みを実施された。
②児童生徒の心に響く道徳教育推進事業 ～命を大切にする心をはぐくむ教育の推進に関する研究～	H19～20	命を大切にする心をはぐくむ教育を推進する観点から、児童生徒が生命の尊さなどを実感できる道徳教育を充実するための実践研究をおこなう。	<p>《推進研究校及び推進研究地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東大阪市立歌垣小学校、能勢町立縄手小学校 ● 児童が、生命の尊さなどを実感を持って理解できる道徳教育の推進を図ることができた。 ● 児童生徒が自身や夢を持つことの大切さを理解したり、他者への関心や共感を深めたりする道徳教育の充実を推進した。

事業名	実施年度	概要	成果・実践例
③伝え合う力を養う調査研究事業	H19～20	学校教育の様々な機会を通じて、お互いの考えや気持ちを伝え合う力を高め、生活上における問題を言葉で解決する力を育てるとともに、児童生徒が相互理解や望ましい人間関係づくりを進めるためのカリキュラム等の在り方について、計画的、総合的に高めていく実践調査研究を行う	<p>《推進研究校及び推進研究地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堺市立錦西小学校、豊中市立蛍池小学校、大東市立四条小学校、四条中学校、和泉市立南松尾小学校、高石市立取石小学校 ● 児童生徒が、相互の考えや気持ちを伝え合うコミュニケーション能力を高め、生活上のさまざまな問題を言葉で解決する力や子どもの相互理解、望ましい人間関係づくりを進めることを目指し、今年度、各指定校において、児童生徒の実態に応じた取組みが行われた。 <p>事業開始当初、国語科に研究内容が偏りがちであったが、推進会議や各指定校で実施した研修会等において、講師からの指導・助言や講義、事務局からの本事業の趣旨説明を通じ、道徳教育に重点をおいた「伝え合う力を高める教育」としての共通理解を図り、研究推進の校内指導体制が進められた。</p>
④高等学校・中学校「人間としての在り方生き方を考える教育」実践研究事業	H19～20	青年期の特徴を踏まえ、生徒が人間や社会に目を向け、人間としての在り方や生き方を考える教育を推進するための実践研究を行う。	<p>《推進研究校及び推進研究地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東大阪市立金岡中学校、府立八尾北高等学校、大阪市立淀商業高等学校 <p>道徳、特別活動、総合的な学習の時間をはじめ各教科等の特徴を活かし、様々な人々との出会い、体験・交流活動を通して、生徒一人ひとりが、自分自身を見つめ直し、自分の将来について、また、自分自身の生き方や在り方についての考えを深める一歩を踏み出すことができた。</p>

事業名	実施年度	概要	成果・実践例
<p>⑤豊かな体験活動推進事業</p> <p>○「推進地域体験活動」</p>	H18～19	<p>豊かな人間性や社会性を育むために、体験活動の学校・学年段階に応じた在り方、教育課程への位置づけ、教科との関連等について実践研究を進める。</p>	<p>《推進研究校及び推進研究地域》</p> <p>＜羽曳野市＞高鷲南小学校、我之荘小学校、高鷲南中学校、府立西浦高等学校</p> <p>＜能勢町＞天王小学校、岐尼小学校、久佐々小学校、田尻小学校、歌垣小学校、東郷小学校、西中学校、東中学校、府立能勢高等学校</p> <p>＜吹田市＞西山田小学校、西山田中学校、府立千里高等学校、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 羽曳野市の指定校では、地域・学校が一体となり、中学校区の一斉清掃ボランティア活動において、児童・生徒及び地域住民との縦割り活動による取組により、地域を愛する感情や地域に対する愛着心の育みという観点でも大きな成果が見られた。 ● 吹田市においては、ヒメボタルの生息地である緑地帯の環境保全を図る活動を通して豊かな感性、人間性を育んだ。三校が連携を図りながら、発達段階に応じて福祉教育やキャリア教育にも取り組み、「勤労」「福祉」「奉仕」等の精神が培われた。 ● 能勢町においては、「小中高一貫教育」事業と関連をさせながら、ボランティア活動や福祉施設への訪問等の取組みを行った。また、能勢町の豊かな自然を活かした取組みを行うとともに、環境フォーラムへも積極的に参加をし、取組みの交流を行った。さらに、キャリア教育について、小学校から高等学校までの12年間のシラバスを作成し、実践を行った。このような取組みにより、学校全体として系統性を持った取組みが実施され、地域を愛する心の育成が図られた。

事業名	実施年度	概要	成果・実践例
<p>⑥豊かな体験活動推進事業</p> <p>○「命の大切さはぐくむ体験活動」</p>	H17～18	<p>命の大切さを学ばせる体験活動の導入の在り方、教育課程への位置づけ、指導方法の開発評価の在り方について、実践研究を進める。</p> <p>豊かな人間性や社会性を育むために、体験活動の学校・学年段階に応じた在り方、教育課程への位置づけ、教科との関連等について実践研究を進める。</p>	<p>《推進研究校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 摂津市立鳥飼西小学校、大阪市立摂陽中学校、大阪府立芥川高等学校 ● 小学校では乳幼児や高齢者との交流体験活動を中心に行い、乳幼児に対する優しさやいたわりの気持ちを育むとともに、高齢者への思いやりの気持ちや態度を培うことができた。 ● 中学校では、この事業を通じて作成したビオトープを中心に、命の大切さや自然を守ることの意義について学ばせる体験活動を行った。 ● 高等学校においては、家庭科及び総合的な学習の時間において介護体験学習や保育体験学習を行い、人との関わりを通じて、自分の生活を振り返り、他の人への感謝の気持ちや思いやりの気持ちを育むことができた。
<p>⑦豊かな体験活動推進事業</p> <p>○「地域間交流体験活動」</p>	H17～18	<p>都市部から農山漁村や自然豊かな地域へ出かけ、地域間交流体験活動を行い、豊かな人間性や社会性を育む。</p>	<p>《推進研究校》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寝屋川市立北小学校 ● 宿泊交流体験活動が、子どもたちは初めての経験だったので、新鮮さを感じたり、他校と一緒に活動することによって、より親密感を得ることができた。環境学習「命のみなもと・水」を深める事ができた。 ● 秋の収穫する時期を、子ども達は事前より楽しみにし、興味関心をひきつけることができた。

事業名	実施年度	概 要	成 果・実践例
⑧豊かな体験活動推進事業 ○「長期宿泊体験活動」	H18～19	長期にわたる集団宿泊等の共同生活体験を行い、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む。	《推進校》 ・池田市立石橋小学校、池田市立細河小学校、府立松原高等学校、府立摂津高等学校、府立羽曳野高等学校、府立東住吉総合高等学校、府立東淀川高等学校、府立牧野高等学校 各指定校の特色を生かし、宿泊体験学習において、宿泊先の地域との交流活動や自然との触れ合いを行い児童生徒の豊かなこころの醸成を図った。
⑨子どもの未来ハートフル推進事業	H18～19	中学校区で、「こころの再生」のねらいの実現に向けて目標を設定し、道徳教育や総合的な学習の時間をはじめとして、人間関係づくりや社会性・実践的行動力を身に付けるためのソーシャルスキル・トレーニングなど、各教育活動を関連させた総合的な活動に取り組む。	41市町村 41中学校区 139校で実施。 ●小・中9年間の発達段階に応じたカリキュラムを作成し、心の教育を充実した。 ●幼・小・中の連携を図った中学校区としての取組みを推進した。 ●学校で学んだことを、体験活動やボランティア活動等の中で実践することによって、身に付いた力に鍛えることができた。 活動を通して社会のルールやマナーを学ぶことができた。

【高等学校課】

事業名	実施年度	概要	成果・実践例
①キャリア育成推進事業	H17～19	<p>キャリア教育支援拠点(平成17年7月設立)との連携により、民間のノウハウを活用したキャリア・カウンセリングの推進などにより、学校の進路指導体制を充実させるとともに、体験活動学習の充実や学習プログラムの開発等により、子どもたち一人ひとりに職業や働くことの意義を理解させ、将来の職業生活に向けて主体的に進路を選択する能力や態度の育成を図る。</p> <p>府立高等学校にキャリアコーディネータを派遣し拠点校を中心とした就職支援活動等の体制を構築。また、その成果について拠点校以外の学校への情報提供。</p>	<p>(配置校9校の実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職内定率の上昇 H16: 69.8% → H18: 88.8% ・進路未決定者の減少 H16: 312人 → H18: 146人
②府立高等学校総合活性化事業	H19	<p>高等学校入学段階からのキャリア教育と生徒指導とのコラボレートによる生徒の職業観・勤労観を育成し、中途退学者等の減少を図る。課題の多い学校に「学校活性化プロジェクト委員会」を設置し、キャリアアドバイザー(民間人)を派遣。</p>	<p>(期待される効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中退の防止と不登校生の減少 ・計画力、実行力、発進力等いわゆる「社会人基礎力」の向上 ・社会に貢献しうる有為な人材育成
③豊かな体験活動推進事業	H17～	<ul style="list-style-type: none"> ●学校教育において「命の大切さを学ばせること」等を目的に体験活動を推進する。 ●命の大切さを学ばせる体験活動の導入の在り方、教育課程への位置づけ、指導方法の開発評価の在り方について、実践研究を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■府立高校における実践例① ○「介護・保育実習」 ●特別養護老人ホームでの介護実習を通して介護の基礎と高齢期の生き方を学習した。 ●保育園での実習を通して子供の発達を体験的に学習した。 ●車いす、きき手首おもり等、器具を用いたインスタントシニア体験をおこなった。 ■府立高校における実践例② ○「交流による国際理解」 ●留学生とのグループディスカッションを通して、文化や習慣の違いを認め、尊重しあい、共に生きていく資質や能力、国際社会において、自分の考えや意志を表現できる基礎的な力を育成した。

事業名	実施年度	概要	成果・実践例
④次代をリードする人材育成推進事業(エル・ハイスクール)	H15～	<p>●創造性やチャレンジ精神にあふれ、たくましく心豊かな、次代を担う生徒の育成を目的とする。</p> <p>*「エル」は、「次代をリードする」(Leading)・「生涯学習」(Life-Long Learning)・「幅広い教養」(Literacy)の「L」から命名した。</p>	<p>■府立高校における実践例①</p> <p>○「マナー・モラル向上運動」</p> <p>●生徒会が中心となって、あいさつの励行や校内での基本的な生活マナー等に関して、啓発ポスターを掲示したり、全校集会で生徒に呼びかけるなど、規範意識の向上に向けた取組みを実施した。</p> <p>■府立高校における実践例②</p> <p>○「志の育成」</p> <p>●志ノートを生徒全員が活用し、「10年後の私」等の課題作文や「志」の実現に向けた進路講座を実施した。</p>
⑤学校支援人材バンク	H11～	<p>教育内容の多様化推進と特色ある学校づくりの一環として、地域や社会の各界で活躍する優れた技能や専門的な知識を有する社会人を、学校教育の指導者として広く活用する。</p>	<p>■府立高校における実践例</p> <p>○「外部人材による講演や交流会」</p> <p>●環境問題を研究している大学教授、発展途上国の医療問題を追跡取材しているジャーナリスト、地元の保育所長などを招き、講演を聞いたり、交流会を実施したりした。</p> <p>●生徒が様々な分野で活躍する人々の体験談などから、自己の将来の在り方、これからの生き方などについて、深く考えるきっかけとなった。</p>

【児童生徒支援課】

事業名	実施年度	概要	成果・実践例
いじめ対策事業	H19	<p>○いじめ対応プログラムⅡの作成とスクールメイトの派遣</p> <p>いじめへの対応の基本である未然防止のため、子ども自身がいじめ等の困難を乗り越え、豊かな人間関係を築くことにより、夢を育むことができるよう「いじめ対応プログラムⅡ」を作成するとともに、活用促進のための教職員研修の実施及び実施補助のため専門的研修を受けた大学生等をスクールメイトとして派遣。</p>	<p>スクールメイトは政令市を除く府内290中学校区に派遣。</p> <p>いじめ対応プログラム活用のため、延80回の教職員研修(府内全公立小中学校から担当教職員 1,412 人が参加)を実施。</p> <p>さらに、研修を踏まえ、児童生徒を対象にした学習が展開され、既に、プログラムを工夫・活用した 175 の実践事例が報告されている。</p>

【総務企画課こころの再生グループ】

事業名	実施年度	概要	成果・実践例
「こころの再生」府民運動	H18	<p>【生命の大切さを理解する心を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころの苗木」(どんぐりの木)の植樹(小中309校) <p>【感動した体験を大事にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感動体験談の募集・表彰(7月～9月) <p>【生徒の自主的な活動を応援する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪「こころの再生」フォーラム(11月) ・府立学校生徒による地域清掃活動等に対する表彰 <p>【家族のつながりを大事にする心を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもファーストデイ(第3土曜)の設定・クーポンの配布 	<p>【主なもの(子ども関連に限る)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころの苗木」 府内全小中学校で植樹 ・優秀作品(小中高校とも各1点)及び顕著な取組を表彰 ○感動体験談・ポスター募集 ○府立学校生徒の取組み ・生徒の発表の場の確保 ○大阪「こころの再生」フォーラム ○大阪高校生フォーラム ・ホームページ等の広報媒体による発信 ○小中高校での児童生徒の自主的な取組 ○あいさつキャラバン隊 ・市町村におけるあいさつ運動の実施 16市町
	H19	<p>【生命の大切さを理解する心を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころの苗木」(どんぐりの木)の植樹(小中712校) <p>【感動した体験を大事にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感動体験談・ポスターの募集・表彰(7月～9月) <p>【生徒の自主的な活動を応援する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪「こころの再生」フォーラム'07(11月) ・大阪高校生フォーラム(2月) (高校生によるメッセージの発表、大人との公開討論等) ・府立学校生徒による地域清掃活動等に対する表彰 <p>【あいさつする心を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつキャラバン隊(小～高校生)による街頭PR (年4回(7月、9月、12月、3月)8箇所) <p>【家族のつながりを大事にする心を育む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもファーストデイ(第3土曜)の設定・クーポンの配布 ・親子参加型イベント(スポーツ・文化教室、人形劇) ・すこやかファミリーウォーキング(11月) 	